

南桂子展

コト、コト。
コト、コト。

2019年2月2日[土] - 4月11日[木]



時計台 1985 30.0×28.1 銅版画

開催期間 2019年2月2日[土]・4月11日[木]
 休館日 月曜日(2月11日は開館)、2月12日[火]
 開館時間 11時～17時(土日祝は10時開館・最終入館はいずれも16時30分)
 ナイトミュージアム◆会期中の第1・3金曜日(2月15日、3月1日、3月15日、4月5日)
 20時まで開館・最終入館19時30分
 展示会場 ミュゼ浜口陽ニ・ヤマサコレクション
 入館料 一般 600円 / 大学・高校生 400円 / 小・中学生 無料
 お問い合わせ ミュゼ浜口陽ニ・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7
 Tel 03-3665-0251 Fax 03-3665-0257
 Mail musee@yamasa.com Web <http://www.yamasa.com/musee/>



展覧会概要

コト、コト。コトリ。
 耳を傾けると、小さく物音の聞こえてきそうな風景。
 生い茂る草花の中から、森の小道から、木々の隙間から。
 微かな音が、作品世界の物語を絶やすことなく紡ぎだす
 ようです。

南桂子（1911・2004）の作品は、無数の繊細な
 線を銅版に彫ることで作り上げられています。富山県に
 生まれた南は、高等女学校時代から絵画や童話の制作に
 励み、戦後、浜口陽三との出会いを機に銅版画の道へと
 歩を進めました。鳥や少女を主人公にしたその作品は
 ユニセフの発行物に採用されるなど、世界的に高く評価
 されています。本展では、南桂子の銅版画約50点と、
 浜口陽三の銅版画約15点を展示します。

作品の世界の中へ、身を乗り出して覗いてみれば、
 その住人たちの息遣いが感じられるかもしれません。



「上段右」鶴 1988 銅版画 42.2×35.1
 「上段左」冬 c.1965 銅版画 38.7×28.9
 「下段右」ノルマンディの教会 1969 銅版画 30.6×28.8
 「下段左」サボテンと塔 1978 銅版画 35.7×28.2



プレスリリースご担当者さまへ
 作品画像の貸出については、作品名を
 広報担当：新田・吉田までご連絡ください。

関連イベント

「色と線の重なり」友禅染め・ワークショップ

手描き友禅の技法を用いて制作を行います。
 友禅染めで使用される、糸目糊と呼ばれる細い線の表現は、
 南桂子の作品にも通じる趣があります。

講師 クワバラマキコ（手描友禅職人・染め工房造舎）
 日時 2019年3月10日（日）

時間 【午前】10:30 - 12:30 【午後】14:00 - 16:00

参加費 2000円＋入館料

持ち物 汚れてもいい服装もしくはエプロン
 申込 2019年2月5日（火）12:00より

電話にて受付開始（先着順）

*10歳以下のお子様は必ず保護者同伴でご参加ください。

